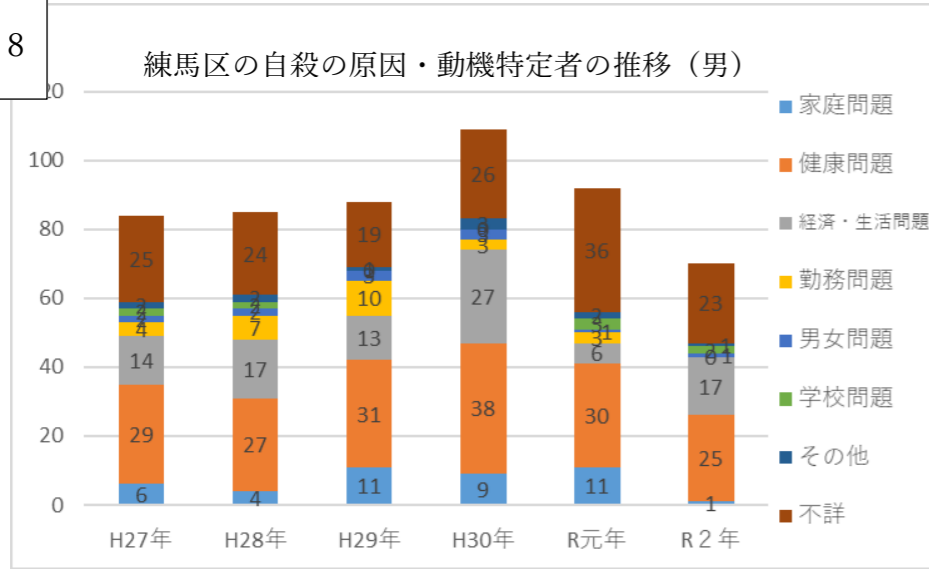


図8



- 令和2年は元年と比較して経済・生活問題が11件の増加となった。
- 一方、家庭問題、健康問題は減少した。

(R2年) ※複数回答

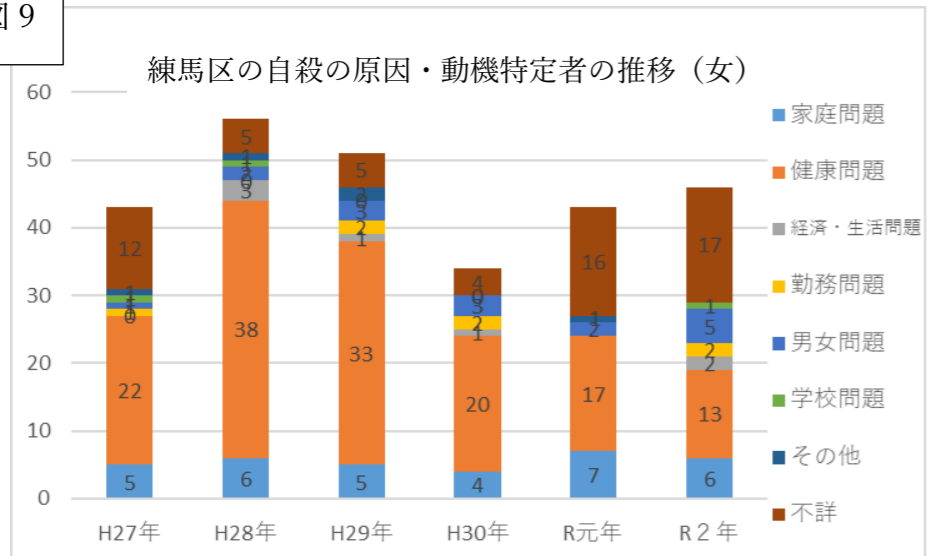
	人	%
1 健康問題	25	43.1
2 経済・生活	17	29.3
3 学校問題	2	3.4
4 家庭問題	1	1.7
5 男女問題	1	1.7
6 その他	1	1.7
7 不詳	23	39.7

表2

	1~6月	7~12月	計	
R2年	46	52	98	
R2年	男	31	27	58
	女	15	25	40
R3年	59			
R3年	男	34		
	女	25		

●令和3年の月別自殺者数(暫定値)は、令和2年に比べ、2月、3月は少なかったが、4月、5月、6月と増え、上半期の計では令和2年の128%である。

図9



- 令和2年は元年にはなかった経済・生活問題、勤務問題が2件ずつ発生したほか男女問題も増加した。
- 一方、健康問題は年々減少している。

(R2年) ※複数回答

	人	%
1 健康問題	13	32.5
2 家庭問題	6	15.0
3 男女問題	5	12.5
4 経済・生活	2	5.0
5 勤務問題	2	5.0
6 学校問題	1	2.5
7 不詳	17	42.5

図10

R2・R3(厚労省発表の暫定値) 月別自殺者数の比較

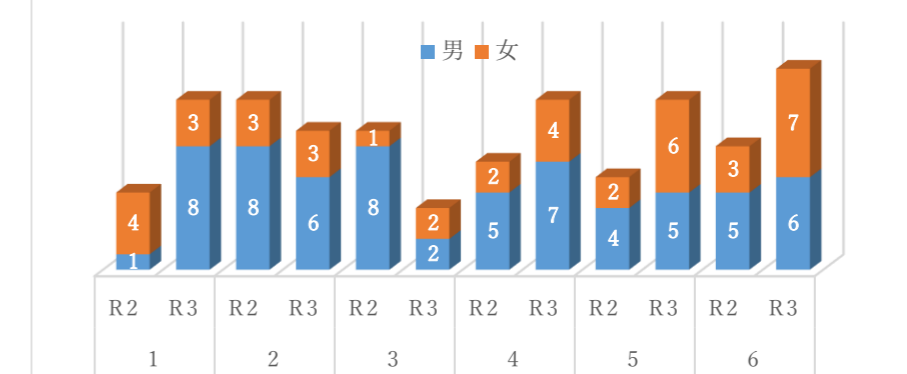
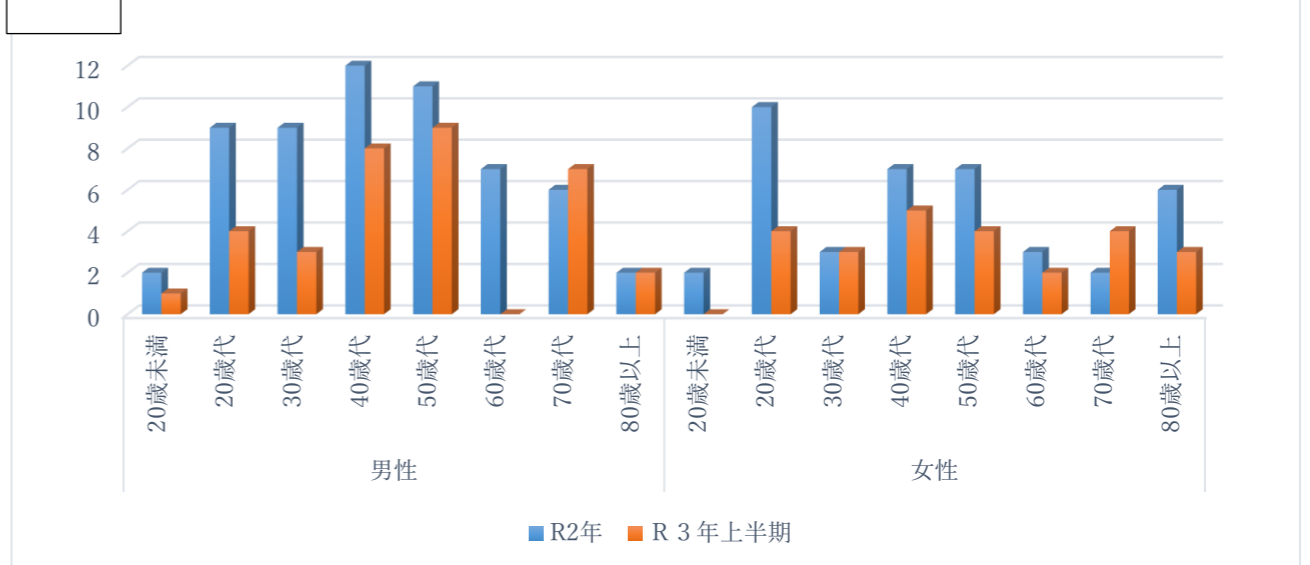


図11

R2年・R3年上半期の年代別自殺者数の比較



●R3年上半期、40歳代、50歳代の自殺者数の多さが目立つ。
また、男女ともに高齢者の自殺が多く、70歳代は昨年一年の自殺者数を超えている。

表1

R2年 自殺者の状況別統計

	同居人		自殺未遂歴			
	人	%	人	%		
男	有	27	46.6	有	8	13.8
	無	31	53.4	無	22	38.0
	不詳	0		不詳	28	48.3
女	有	26	65.0	有	15	37.5
	無	13	32.5	無	15	37.5
	不詳	1	2.5	不詳	10	25.0

- 男性では、同居者の無いかたが、有るかたよりも多い。
- 女性では、同居者の有るかたが、無いかたの倍多い。